Machine Translated by Google

安全性データシート

規則（EC)No 1907/2006（REACH)による

マルモロッソマルマリノ

バージョン：	3.0	準備日：	2020年2月13日
フォーム番号：	330074	改訂日：	2020年2月13日

1.製品および会社の識別/理解

1.1製品識別子

製品名製品コード　マルモロッソマルマリノ

SDS説明なし　1487

330074

ミネラルナチュラルライムベースのアンティーク大理石調インテリア装飾素材

1.2製品の関連する特定された使用法および推奨される使用法

関連する特定された用途装飾材料使用のアドバイス一般的な概要については、第16章を参照してください。

1.3安全データシートのサプライヤーの詳細

メーカー会社DEKABOYASANAY　VET　CARETA.　。

住所　SS　stanbulMermercilerKüçükSan.SitesiYap　Koop。

34.Cd.No:341490Dilovas　-コジャエリ/トルコ

電話ファックス会社電子メール会社Webページ　+90（262)728 10 88（Pbx）

+90（262)728 10 71

info@sandeco.com.tr

www.sandeco.com.tr

1.4安全データシートに関する情報提供機関

Kenan HAYAL – kenan.hayal@dekaboya.com.tr

1.5緊急電話番号

会社の緊急事態+90（216)575 56 56（Pbx）

2.危険有害性の特定

2.1製品の分類

2.1.1規則（EC)No1272/2008による分類

製品は、に記載されている規定に従って危険物として分類されていません

指令EC規則1272/2008（CLP）（およびその後の修正およびサプリメント）。

皮膚の炎症。カテゴリ2、H315

重度の眼の損傷/眼の刺激、カテゴリー1、H318

特定の標的臓器毒性-単回暴露：気道刺激性、カテゴリー3、H335

2.2ラベル要素

2.2.1。規則（EC)No 1272/2008 [CLP1 /GHS2]に従ったラベリング

製品識別子

ラベル付けのための危険成分

水酸化カルシウム（Cao）

ハザードピクトグラム

合言葉

危険

Machine Translated by Google

危険有害性情報

H315皮膚刺激を引き起こします。

H318深刻な眼の損傷を引き起こします。

H335呼吸器への刺激を引き起こす可能性があります。

予防声明

全般的

なし

防止

P261粉じん/煙/ガス/霧/蒸気/スプレーの吸入を避けてください。

P264取り扱い後は、水でよく洗ってください。

P280保護手袋/保護服/目の保護具/顔の保護具を着用してください

応答

P302 + P352 P304 + P340	吸入した場合は、皮膚に接触した状態で大量の水で洗ってください。人を新鮮な空気にさらし、呼吸を快適に保ちます。

P305 + P351+P338目に入った場合水で数分間注意深くすすいでください。削除コンタクトレンズが存在し、簡単にできる場合。皮膚の炎症が発生した場合は、すすぎを続けてください。医師の診察/注意を受けてください。

P362 汚染された服を脱ぐ

保管所

なし

廃棄

なし

補足ハザード情報（EU)ステートメント

なし

2.2.2。追加のラベリング

なし

2.3ハザードの特定

2.3.1。皮膚接触

皮膚を刺激する。

2.3.2。アイコンタクト

深刻な眼の損傷を引き起こします。

目の粒子は刺激やかすみを引き起こす可能性があります繰り返しまたは長時間のアイコンタクトは、結膜の一時的な発赤（結膜炎に類似)を特徴とする炎症を引き起こす可能性があります;一時的な視力障害および/または他の一時的な目の損傷/潰瘍が発生する可能性があります。

2.3.3。摂取

腹痛や嘔吐を引き起こす可能性があります。

2.3.4。吸入

吸入による長期暴露による健康への深刻な損傷の危険性。

呼吸器への刺激を引き起こす可能性があります

2.3.5。長期的な影響

なし

2.3.6。環境への悪影響

なし

Machine Translated by Google

2.4。追加情報

HフレーズとEUHフレーズの全文 :セクション16を参照してください。

3.成分の組成/情報

3.1物質の説明

準備;ペイント

3.2危険成分

名前	EINECS いいえ	CAS番号	コンテンツ %	分類CLP
酸化カルシウム（CaO）	215-138-9	1305-78-8	20,0-22,0	皮膚の炎症。カテゴリー2、H315重度の眼の損傷/眼の刺激、カテゴリー1、H318特定の標的臓器毒性-単回暴露 :気道刺激、カテゴリー3、H335
エタンジオール	203-473-3	107-21-1	2,00-2,50	急性毒性（経口）、カテゴリー4、H302 STOT REカテゴリー2、H373

3.3追加情報

HフレーズとEUHフレーズの全文 :セクション16を参照してください。

4.応急措置

4.1応急措置の説明

4.1.1一般情報

•影響を受けた人を熱、火花、炎から遠ざけてください

•目の汚染、持続的な皮膚の炎症、および死傷者のすべてのケース

この物質を飲み込んだ、またはその蒸気の呼吸によって影響を受けた場合は、医師の診察を受ける必要があります。

4.1.2吸入後

新鮮な空気を供給し、必ず医師を呼んでください。意識を失った場合は、患者を安定して横向きに置き、輸送してください。

4.1.3皮膚接触後

•影響を受けた人を汚染源から取り除く

•履物を含むすべての汚染された衣類をすぐに取り除きます。

•流水で肌や髪の毛を洗い流してください。

•刺激があった場合は医師の診察を受けてください。

Machine Translated by Google

4.1.4アイコンタクト後

すぐに新鮮な流水で洗い流してください。
•まぶたを目から離して離し、時々上まぶたと下まぶたを持ち上げてまぶたを動かすことにより、目の完全な洗浄を確実にします。
•目の怪我の後のコンタクトレンズの取り外しは、熟練した人員によってのみ行われるべきです。
•刺激が続く場合は医師に連絡してください

4.1.5摂取後

•ソースから被害者をすぐに削除します
•休息、暖かさ、新鮮な空気を提供します。
•飲み込んだ場合は、嘔吐を誘発しないでください。
•嘔吐が発生した場合は、患者を前傾させるか、左側（可能であれば頭を下に向けた位置)に置いて気道を開いたままにし、誤嚥を防ぎます。
•患者を注意深く観察します。
•眠気の兆候を示している人や意識が低下している人には絶対に液体を与えないでください。つまり、意識を失います。医師の診察を受けてください。

4.1.6医師への注意

•症候的に治療します。

5.消火措置

5.1一般情報と可燃性
物質は可燃性ではありません。

5.2消火媒体：
二酸化炭素（CO2)を使用して消火することができます。
泡、乾燥化学薬品、粉。水スプレー。

5.3製品から生じる特別な危険
火災の際の暴露による危険
燃焼生成物（炭素酸化物、有毒な熱分解生成物など)を呼吸しないでください。

5.4消防士へのアドバイス

•火の蒸気を吸い込まないようにしてください。
•火が消えるまで、水で炎にさらされた容器を冷やす
•呼吸装置、保護手袋、目の保護具を着用してください。
•周辺地域に適した消火手順を使用してください。

Machine Translated by Google

•火災時に一般的に使用される保護具を使用してください。
•残留物からの煙の吸入を避けてください。
•高温の疑いのある容器に近づかないでください。
5.5追加情報•消防隊に警告し、危険の
場所と性質を伝えます。
•消火に使用する水は、排水システム、土壌、または水域に入らないでください。
•消火に使用する水のための十分な保持設備があることを確認してください。
•汚染された消火水は、適切な地方自治体によって発行された規制に従って処分する必要があります

6.偶発的なリリース措置

6.1個人的な予防措置、保護具および緊急時の手順•適切な換気を確保し、ほこりや蒸気を吸い込まないでくださ
い•セクション8を参照してください。

6.2環境への注意•材料が排水溝や水路に入ら
ないようにしてください。
•水路への流出または制御されていない排出は、環境庁または他の適切な規制機関に警告する必要がありま
す。
6.3封じ込めと浄化の方法と材料6.3.1封じ込めの場合少量の流出 :•すべての流出を直
ちに浄化します。

•蒸気の呼吸や皮膚や目への接触を避けてください。
•保護服、手袋、保護メガネ、呼吸器を着用してください。
•こぼれた物質を、清潔で乾燥した密封可能なラベルの付いた容器に入れます。
大規模な流出：
•注意 :地域の担当者に助言してください。
•緊急サービスに警告し、危険の場所と性質を伝えます。
•保護服を着用して個人の接触を管理します。
•利用可能な手段を問わず、こぼれたものが排水溝や水路に入るのを防ぎます。
•可能な限り製品を回収します。
6.3.2清掃のために•換気、清掃
担当者は呼吸および/または液体接触保護を使用する必要があります。
•バーミキュライト、乾燥した砂または土に吸収し、容器に入れます。
•水源または下水道を汚染しないでください。6.3.3その他の情
報•地域、州、および連邦の規制に従って廃棄物を処分してくだ
さい。

6.4他のセクションへの参照•セクション13に従
って、汚染された物質を廃棄物として処分します。
•セクション13を参照してください

Machine Translated by Google

7.取り扱いと保管

7.1安全な取り扱いのための注意事項7.1.1保
護措置個人的な予防措置•職場での良好な換
気/倦怠感を確保してください。

•エアロゾルの形成を防ぎます。
•こぼれたり、皮膚や目の接触を避けてください。
•蒸気の呼吸を避けてください。
•大気汚染が許容レベルを超えている場合は、承認された呼吸器を使用してください。
•人体、露出した食品、または食器に物質を接触させないでください。•吸入を含むすべての個人的な接触を
避けてください。
•暴露の危険が生じる場合は保護服を着用してください。
•換気の良い場所で使用してください。
•取り扱い中は、飲食、喫煙をしないでください。
•取り扱い後は必ず石鹸と水で手を洗ってください。
•再利用する前に、汚染された衣類を洗濯してください。
•適切な職業上の作業慣行を使用します。
•メーカーの保管と取り扱いに関する推奨事項を順守してください。
防火•製品は可燃
性ではありません。
•環境への注意 ：•地方、州、およ
び連邦の規制に従って廃棄物を処分してください。
7.1.2一般的な労働衛生に関するアドバイス•材料が使用されてい
る場所で飲食、喫煙をしないでください。
•材料を扱った後、徹底的に洗ってください。
•食事場所に入る前に、汚染された衣服と保護具を脱いでください。
7.2非互換性を含む安全な保管の条件•バンディングエリアでの保管を検討する–保管エリ
アがコミュニティの水源（雨水、地下水、湖、小川など)から隔離されていることを確認します。

•空気または水への偶発的な放出が緊急時災害管理計画の対象であることを確認します。これには地方自治体との協議が必要
になる場合があります•使用しないときは容器をしっかりと密封してください。

•コンテナへの物理的損傷を避けてください。
•しっかりと密封された元の容器に保管してください。
•極端な環境から保護された涼しく乾燥した場所に保管してください。
•互換性のない材料や食品容器から離して保管してください。
•コンテナを物理的な損傷から保護し、漏れがないか定期的にチェックします。
•製造元の保管と取り扱いに関する推奨事項を順守してください。•このドキュメントに記載さ
れているすべての予防措置を講じてください。
7.2.1一般的な保管に関するアドバイス•食べ物、
飲み物、動物用飼料から遠ざけてください。
•メーカーの保管と取り扱いに関する推奨事項を順守してください。
•保管条件は+5°Cと+35°Cの間です

Machine Translated by Google

7.2.2保管に関する特定の注意事項

•取り扱いと保管に関する国および地方の規制を遵守してください。

8.暴露管理/個人保護

8.1制御パラメータ

適切な一般的および局所的な排気換気を提供します。
必要に応じて防炎装置を使用して、効率的な換気/抽出を維持します。
限られたスペースで作業している間は、職場の大気中の浮遊粒子の濃度を監視することを検討する必要があります。

8.1.1職業被ばく限界

製品には、職場で監視する必要のある重要な値を持つ関連する量の材料が含まれていません。

8.2露出制御

8.2.1適切なエンジニアリング管理

エンジニアリングコントロールは、危険を取り除くため、または作業者と危険の間に障壁を設けるために使用されます。
適切に設計されたエンジニアリング制御は、労働者を保護するのに非常に効果的であり、通常、この高レベルの保護を提供するために労働者の相互作用から独立しています。
エンジニアリング制御の基本的なタイプは次のとおりです。
リスクを軽減するために、ジョブアクティビティまたはプロセスの実行方法を変更することを含むプロセス制御。
選択された危険を作業者から「物理的に」遠ざける排出源の囲い込みおよび/または隔離、および作業環境内の空気を戦略的に「追加」および「除去」する換気。

適切に設計されている場合、換気によって空気汚染物質を除去または希釈することができます。
換気システムの設計は、使用中の特定のプロセスおよび化学物質または汚染物質と一致する必要があります。
雇用主は、従業員の過度の露出を防ぐために、複数のタイプのコントロールを使用する必要がある場合があります。
固体が粉末または結晶として扱われる場合は、局所的な排気換気が必要です。粒子状物質が比較的大きい場合でも、相互摩擦によって一定の割合で粉末化されます。

8.2.2個人用保護具

8.2.2.1目/顔の保護：
詰め替え時に推奨される安全ゴーグル

8.2.2.2皮膚保護手の保護

•関連する規格（例：ヨーロッパEN 374、US F739、
AS / NZS 2161.1または国内版）。
•長時間または頻繁に繰り返し接触する可能性がある場合、保護クラスが5以上の手袋（破過時間が240分を超える）

Machine Translated by Google

EN 374に従って、AS / NZS 2161.10.1または国内の同等のもの)が推奨されます。

•短時間の接触のみが予想される場合、保護クラスが3以上の手袋
（EN 374、AS / NZS 2161.10.1、または国内の同等物に準拠した60分を超えるブレークスルー時間)をお勧めします。汚染された手袋は交換する必要があります。

手袋は清潔な手にのみ着用する必要があります。手袋を使用した後は、手をよく洗って乾かしてください。無香料の保湿剤の使用をお勧めします。

身体の保護

液体との接触や蒸気との繰り返しまたは長時間の接触の可能性を防ぐために、適切な衣服を着用してください。

その他の保護

•適切な産業衛生および安全慣行に従って取り扱ってください。

•休憩前と仕事の終わりに手を洗ってください。

•製品使用後はよく洗ってください。

•飲食する前に手を洗ってください。

8.2.2.3呼吸保護

•短時間の曝露または低汚染の場合は、呼吸フィルター装置を使用してください。集中的または
より長い曝露の場合は、自己完結型の呼吸用保護具を使用してください。

8.2.3環境暴露管理

•環境保護のための法律は完全に満たされなければなりません。

9.物理的および化学的性質

9.1健康、安全、環境に関する重要な情報

9.2外観

形態/物理的状態	液体、
色	白とカタログの色
におい	特性

9.3安全関連の基本データ

デー	価値
タpH	12-14
密度g/cm3	1,57-0,05
可燃性/可燃性引火点°C可燃限界–下	適用できない
限（%）	適用できない
	適用できない
可燃限界–上限（%）	適用できない
爆発下限界、体積/体積空気爆発限界上限、体	適用できない
積/体積空気粘度°C沸点（°C間隔）	適用できない
	粘性（クレブユニット-1）
	データなし
融点°C水への溶解度	適用できない
@20°C固形分%wt分配係数n-オ	水と混和性
クタノール/水（log Po / w）	70±2
	適用できない

注：上記の特徴は、危険有害性の分類、包装、および表示で規定された方法に従って決定されました。物質規制セクションA-3または他に匹敵する方法。

Machine Translated by Google

10.安定性と反応性

10.1反応性

10.2化学的安定性

•製品は通常安定しています。

10.3危険な反応の可能性

•危険な反応は知られていない。

10.4避けるべき条件：

•重大な状態はありません。

10.5互換性のない素材：

•重要な資料はありません。

10.6危険な分解生成物：

火災により発生するもの：有毒ガス/蒸気/煙：二酸化炭素（CO2）。

一酸化炭素（CO）

10.7危険な重合：

発生しません。

11.毒物学的情報

11.1一般情報

現在入手可能なデータによると、この製品はまだ健康被害を引き起こしていません。とにかく、それは良い産業慣行に従って注意深く扱われなければなりません。この製品は、吸入および/または皮膚吸収および/または目との接触および/または摂取により、敏感な人々にわずかな健康影響を与える可能性があります

11.2急性毒性

データなし

11.3皮膚の腐食/刺激および眼の損傷/刺激：

皮膚刺激性：皮膚を刺激します。

目の炎症：深刻な目の損傷を引き起こします

11.4 CMR効果（発がん性）：

文献検索で特定された重要なデータはありません。

11.5 CMR効果（生殖に対する変異原性および毒性）：

文献検索で特定された重要なデータはありません。

11.6その他の毒性学的影響：

アレルギー効果文献検索で特定された重要なデータはありません

反復投与への影響

Chron cExposures：文献検索で特定された重要なデータはありません

感作文献検索で特定された重要なデータはありません

発生毒性（催奇形性）：文献検索で特定された重要なデータはありません。

受胎能力：文献検索で特定された重要なデータはありません

トキシコキネティクス：文献検索で特定された重要なデータはありません

Machine Translated by Google

11.7 STOT-シングル/リピートエクスポージャー：

STOT-単回暴露は呼吸器への刺激を引き起こす可能性があります。

STOT-反復暴露データなし

11.8物理的､化学的および毒物学的特性に関連する症状：

吸入した場合､気道の炎症を引き起こす可能性があります。

皮膚に接触した場合皮膚に刺激を与える。

目に入った場合深刻な眼の損傷を引き起こします｡目の中の粒子は､刺激やスマート化を引き起こす可能性があります。 。

飲み込んだ場合､腹痛や嘔吐を引き起こす可能性があります。

11.9追加の毒物学的情報：

健康への特殊効果は、
セクション3の情報

12.エコロジー情報

12.1生態毒性：

洗浄装置またはプロセス装置からの洗浄水が排水口に入らないようにしてください。

急性毒性：
データなし

12.2光劣化

適用できない

12.3廃水処理プラントへの影響

製品を排水システムに入れないでください。

廃水処理プラント

12.4モビリティ

水と混和します。

生態毒性を参照してください。	データなし
水の脅威クラスきれいな	データなし
水の影響既知または予測	データなし
環境分布12.5PBTおよびvPvB評価の結果	データなし
非生物的：	
生分解性：	データなし
pHの関数としての加水分解：	データなし
光分解：	データなし
持続性と分解性：	
製品の分解の可能性	データなし
分解の半減期	データなし
の製品コンテンツの潜在的な劣化	
生体内蓄積の可能性：	
生物学的製剤	
アル環境（生物相）	
蓄積の可能性	データなし
可能性–栄養素は通過します	データなし
参照値– Log Kow	
SwとBCF	データなし

Machine Translated by Google

12.6追加情報

環境への放出を許可しないでください。

セクション6、7、13、14、および15を参照してください

13.配布上の考慮事項

13.1製品/梱包材の廃棄

廃棄物処理要件に対処する法律は、国、州、および/または地域によって異なる場合があります。各ユーザーは、自分の地域で運用されている法律を参照する必要があります。一部の地域では、特定の廃棄物を追跡する必要があります。

コントロールの階層は一般的であるようです–ユーザーは、削減、再利用、リサイクル、廃棄を調査する必要があります（他のすべてが失敗した場合）

適切な地域の規制に従って廃棄してください。

13.2汚染された包装

残留物が残らないように容器を十分に洗浄できない場合、または容器を使用して同じ製品を保管できない場合は、再利用を防ぐために容器に穴を開け、許可された埋め立て地に埋めてください。

可能な場合は、ラベルの警告とSDSを保持し、製品に関連するすべての通知を遵守してください。

13.3廃棄方法

可能な限りリサイクルするか、リサイクルオプションについてメーカーにご相談ください。

処分については、州の土地廃棄物管理局に相談してください。

許可された埋め立て地に残留物を埋めます。

13.4ヨーロッパの廃棄物カタログ

最終的な分類は、地元の廃棄物処理会社/当局と一緒に行う必要があります。

14.輸送情報

	ADR8 / RID9 ADNR		IMDG10	ICAO11 / IATA12
交通	道	川	マリン	航空路
適切な輸送名	この製品は、道路（ADR)および鉄道（RID)による危険物の国際運送法、国際海事危険物法（IMDG）、および国際航空運送協会（IATA)の現在の規定では危険ではありません。規則。			
UN/ID番号	-	-	-	-
シンボル	-	-	-	-
クラス	-	-	-	-
パッケージンググループ	-	-	-	-
ラベルなし	-	-	-	-
分類コード	-	-	-	-
ハザードNO（HIN NO）	-	-	-	-

Machine Translated by Google

EmS	-	-	-	-
海洋汚染物	-	-	いいえ	-
国際輸送規制に関する注記：この製品は危険物として規制されていません。				

15.規制情報

15.1安全性、健康および環境規制/物質に固有の法律

欧州連合–既存の商業化学物質の欧州目録（EINECS）

「分類、ラベリング、およびラベリングに関する欧州連合（EU)規則（EC)No 1272/2008
物質および混合物の包装–付属書VI S）（英語）」

15.2化学物質の安全性評価

化学的安全性評価は実施されていません。

15.2.1危険

CLPのAnnexVIに従ったCLP分類（規則（EC)No 1272/2008）
皮膚の炎症。カテゴリー2、H315重度の
眼の損傷/眼の刺激、カテゴリー1、H318特定の標的臓器毒性-単回暴露：
気道刺激、カテゴリー3、H33515.3ラベル要素

この安全データシートは、規制（EC)の要件に準拠しています。
1907/2006およびISO11014：2009。この製品は、EU指令GHS/CLPに従って分類されています。

16.その他の情報

16.1その他の情報

DEKABOYASANAY　VET　CARETA.の製品およびサービスに関する追加情報については、 DEKABOYASANAY　VET　CARETA.にお問い合わせください。
+90（216)575 56 56（Pbx）

上記の情報は、1907/2006指令およびその修正に準拠しています。
潜在的な中毒のすべての場合において、支持療法は最も重要です

16.2関係者

Kenan HAYAL – kenan.hayal@dekaboya.com.tr
DEKABOYASANAY　VET　CARETA.
作成者：U　urB　LG　L
有資格者認定番号：TSE GBF-A-2350

Machine Translated by Google

16.3改訂日、バージョン、およびSDS番号

日付 :2020年2月13日
バージョン :3.0 / EN
SDS番号 :330074

6.4再発行の理由

規則（EC)No 1272/2008 [CLP/GHS]に従ってコンパイル
16.5関連するHフレーズとEUHフレーズ（番号と全文）：

H302飲み込むと有害
H315は皮膚の炎症を引き起こします
H318は深刻な眼の損傷を引き起こします
H335呼吸器刺激を引き起こす可能性があります
H373長期または反復暴露により、臓器に損傷を与える可能性があります

16.6免責事項

上記の情報の目的は、健康と安全の要件の観点からのみ製品を説明することです。

したがって、記載されている情報は、特定の特性を保証するものまたは仕様として解釈されるべきではありません。
顧客は、そのような情報が自分の特定の用途に適しているか完全であるかについて満足する必要があります。

この安全データシートに記載されている情報は、発行日における当社の知識、情報、および信念の範囲内で正しいものです。
上記の情報は、ここで指定された特定の資料にのみ関連し、本文で指定されていない限り、他の資料と組み合わせて、または任意のプロセスで、または資料が変更または処理された場合に使用されるそのような資料には有効でない場合があります。

記載されている情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、およびリリースのガイダンスとしてのみ設計されており、保証または品質仕様とは見なされません。この製品を使用する際の当社の管理外の多くの要因により、当社は、その使用によって生じたいかなる怪我、事故、損失または損害についても責任を負いません。

1 CLP :分類のラベル付けとパッケージング
2 GHS :グローバル調和システム
3 TLV :しきい値制限値
4 TWA :時間加重平均5 STEL :短期暴露限界

6mg /m³ :1 m3の空気中のミリリットル単位の材料の量（20 oCおよび101、3 KPa）。
7 Ppm :100万分の1、1m3の空気中のミリリットル単位の材料の量。 （ml / m3）
8 ADR :道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
9 RID :鉄道による危険物の国際輸送に関する規制
10 IMDG :危険な国際海事法
11商品ICAO :国際民間航空機関
12 IATA :国際航空運送協会